



新築・増改築のことなら
3コーホーム
 見積無料
 津市殿舟 059-2374488



〈年長に進級〉
 町、祖父・森上勉
 孫 保育園のこと カレンダーに
 子 (一口食べて) 砂糖がぎっしり
 づつみ」と書いてありました
 すえかね・れん(4) 亀山市みず
 もりかみ・ほん(5) 松阪市殿 ほ台、母・未包幸子

バス来ぬバス停 徘徊防ぐ

バスの来ないバス停が、介護相談に応じる明和町明星の居宅介護事業所「あいあい介護相談いわ」の事務所敷地内に設置された。帰宅願望などで一人歩きをしようとする高齢者がバス停にとどまることで、徘徊を防ぎたいと考えたからだ。行方不明になった高齢者が亡くなったという話も耳にし、設置を決めた代表の中村英登さん(52)は「認知症は誰でもなり得る。地域で助け合おうシンボルにしたい」と願う。



中村さん(右)が設置した「バスの来ないバス停」=いずれも明和町明星で

明和の介護相談所設置

バスの来ないバス停は、ドイツの介護施設が始めた。認知症になっても長年の習慣は覚えている傾向があり、通勤などでバスに慣れ親しんだ人では「家に帰りたい」と思うとバス停に向かうことがあるという。

バス停で気持ちが落ち着いたタイミングを見計らって「一緒に建物の中で待ちませんか」などと声をかけて保護し、行政機関や家族に連絡して迎えに来てもらう。

2022年ごろ、中村さんが介護施設に入所した母の家を掃除していた時だった。近

やまだ行き 平日		やまだ行き 土日	
時	分	時	分
8	10	8	15
9	10	9	
10	10	10	
11	10	11	
12	昼ごはん	12	昼ごはん
13	10	13	
14	10	14	
15	おやつ	15	おやつ
16	10	16	15
17	10	17	15
18	10	18	15

地域の高齢者保護に活用

くに住む高齢者が敷地内に入ってくるのを目撃し、徘徊対策を考えるきっかけになった。

昨年、テレビ番組で愛知県豊橋市でバスの来ないバス停が設けられたとのニュースを見たことなどで設置への思いを強くした。

県内のバス会社に協力を求め、バス停の標識を寄贈してもらった。バス停の名称は「公園前」で、地元の人になじみやすいよう、行き先は「やまだ」(伊勢市の宇治山田駅)にした。

ベンチも置き、老人の保護だけでなく、井戸端会議など地域の人の憩いの場にもしてもらったつもりだ。

お目見えは今日1日。エープリルフールにちなみ、「やさしいウソ」をついた。中村さんは「地域の人が集まり、認知症の高齢者も一緒になってほっこりできる場になればうれしい。取り組みが広がって、悲しいニュースが少しでもなくなることにつながれば」と話した。

バスの来ないバス停の時刻表

まなかとて絵と遊ぶ

サイトミュージアム所蔵品より

京都市内のことを洛中と呼ぶのは、中国・唐の洛陽になぞらえて左京地域を「洛陽城」と名付けたことがその起源だという。洛西は西側の郊外地域で、洛西で育った農作物が都の人々の食を支えていた。

本作は横長の画面に川のある風景が描かれている。向こうに見えるのが嵐山など北の山々だとすると、西日の差す夕暮れ時であろうか。手前にはネコヤナギとタンポポ、左の土坡(土の堤)には放し飼いのニワトリが数羽見られる。

その向こう、ちよつと画面の中央には手ぬぐいで「姉さんかぶり」をした女性が天日干しにした何かを片づけているようだ。奥に見える川面には家々の屋根が映り込み、手前の川面は木々が克明に描写されている。その模様は尾形光琳の



1894(明治27)年頃 制作

「紅白梅図屏風」のような複雑な様相を呈している。画面全体に暖かみのある柔らかな光にあふれ、春の気配を十分に感じさせる力作である。

(サイトミュージアム学芸員 田中善明)

洛西早春

やまのつちぐせん
 山内愚僊作

松阪の永吉選手 天皇杯へ気合

男子体操 パリ五輪選考会兼ねる



竹上市長室の激励を受けた永吉選手=松阪市役所で

パリ五輪男子体操の日本代表第2次選考会を兼ねた「天皇杯第78回全日本体操競技個人総合選手権」に出場する松阪市宝塚町の永吉雄選手(28)が4日、市役所で竹上真人市長の激励を受けた。

永吉さんは、同市駅前町の相好体操クラブ松阪教室でコーチを務めながら、選手としても技を磨く。

天皇杯は9~14日、群馬

米ノ庄公民館「コミセン」へ改称

松阪 自治協の指定管理に



松阪市久米町の米ノ庄公民館は、地元の米ノ庄住民自治協議会の指定管理になったことに伴い、1日から米ノ庄地区コミュニティセンターに名称を変更した。6日には竹上真人市長ら約200人が出席し、「コミュニティセンター」の開館を祝うセレモニーがあった。

セレモニーでは、自治協のイベントを手伝っている子どもたちや竹上市長らがテープカットをした。餅まきや豚汁の振る舞いもあり、来場者を盛り上げた。

竹上市長は「町を自分たちが仕切ることができるようになることを目指して、市民が活躍の場を創出してほしい」と話した。

センター長の山内さん(70)は「これまで、地域住民のニーズを合意形成して、より住民が活躍の場を創出してほしい」と話した。

2024 4/13 桜ホール 見学会
 会場 桜ホール 四日市市桜町6613



竹上市長室(右)を手渡す岩崎林さん=松阪市役所